



6月の「教育情報コーナーからのお知らせ」で掲載しました教育者ランキングで、第11位にランキングされた野口芳宏氏の著作『教師の作法～指導』から紹介します。

### 理想の教師像を持つことが心の杖になる

教師になりたての頃はほとんどの教師が大きな理想と情熱を持っています。しかしその気持ちは、多忙な日々の業務や、思い通りにいかない授業、難しい父母への対応などに擦り減らされ、いつのまにか萎んでしまうケースも少なくありません。

子どもを育てようと頑張るあまり、教師自身の根や心に水をやるのを忘れてしまう。

これでは本末転倒です。それを避ける一番の方法は、自分自身の中に確固たる理想像を持つことです。身近な人物に出会えれば最高ですが、素晴らしい書物や感動した研究授業、講演会…とにかく「自分もああなりたい」と憧れる具体的なイメージを自ら持つことが、くじけそうな時の心強い杖となってくれます。

